

桜井市議会議員 やすおき つちや 靖起

士 家



活動報告

第57号

連絡先 633-0064 桜井市戒重57 電話0744-43-9288 FAX0744-43-9295
 メール tuchiya@seikatubunka.jp

幼児教育の無償化

市内での状況を確認

「子育て世代の負担軽減を」

土家靖起は昨年12月の市議会定例会の一般質問に登壇し、今年10月の消費税率引き上げに合わせ、政府が取り組む3歳から5歳までの幼児教育(幼稚園、保育園、認定こども園)の無償化について、市の考えをたずねました。また全国的な動きとしてある自治体の利用料の「便乗値上げ」の予定がないか質問し、市は「引き上げる動きはない」と回答しました。土家は人口減、少子化の中、子育て世代の負担軽減に努めることを要望しました。

村は負担が大幅に増え、市では7500万円の増加になると見込んでいる。現在策定中の保育園、幼稚園のあり方についての基本方針の中でも反映していく必要がある。

いない3歳児は36人、4歳児は15人、5歳児は8人で計59人おられる。市では国が定義している「待機児童」はない、これらの子どもたちが特定の施設を希望されることがなければ、受け入れは可能。

土家

幼児教育の無償化の制度的な内容、対象範囲など具体的な制度設計について聞きたい。また桜井市の財政状況は人口減少に伴い、非常に厳しいものになっている。負担増となる財源について聞きたい。無償化に伴い赤字にはならないか。

市長

幼稚園、保育園、認定こども園を利用する3歳から5歳までのすべての子どもたちの利用料を無料に、また0歳から2歳の子どもの利用については、住民税非課税世帯を対象に無料にする。財源は政府案によると、消費税引き上げに伴う地方配分を活用することになっている。桜井市のような公立保育園、幼稚園を多く抱える市町

土家

無償化が実現すると保育園、幼稚園を利用していない未就学児の利用も多くなるのではないか。これらの子どもは市内に何人おられるのか。また利用された場合、私立も含めて受け入れは可能か。

福祉保険部長

保育園、幼稚園を利用し

市長

議員お述べの通り、できるだけ私立施設でこ

土家

行財政改革アクションプランで、保育園の民営化を進める中、未利用者の利用が増加した場合、できるだけ私立で対応いただくべきと考えるが、市長の考えは。

高齢者特殊詐欺

防止対策の強化へ

介護施設などにも注意喚起求める

幼児教育の無償化のほか、「オレオレ詐欺」をはじめ、高齢者を狙った特殊詐欺の防止策についても質問し、被害に遭わないよう、啓発、周知活動の強化を求めました。

土家

昨今、高齢者を狙った特殊詐欺被害が多発している。市の防止対策は。

市長

啓発は大変重要と考えられている。市では消費生活センターを設置し、出前講座などで地域の高齢者に啓発するなど、取り組みを進めている。また関係機関と協力して各種の取り組みを進めている。

土家

最近では「消費料金に関する訴訟最終通告の

対応いただきたいと考えている。
 土家 この無償化に合わせた利用料の値上げが全国的に問題となっている。市内でそのようなことはないか。

教育長

市内にある4つの私立幼稚園では来年度、2つが現状維持、1つは値下げ、1つは値上げを検討しているが、無償化の限度額一杯まで引き上げる動きはない。

保育園、幼稚園を利用していない市内の未就学児の人数と内訳		
3歳児	36人	合計 59人
4歳児	15人	
5歳児	8人	
(平成30年5月1日現在)		
来年度、市内4つの私立幼稚園の動き		
現状維持	2園	
値下げ	1園	
値上げを検討(限度額一杯ではない)	1園	

お知らせ」と題したはがきが桜井市内でも確認されている。被害状況について聞きたい。

市民生活部長兼危機管理監

平成29年の特殊詐欺は桜井市内で3件、2106万円の被害が発生しており、このうち1件が架空請求、2件がオレオレ詐欺になっている。被害者は60歳代、70歳代、80歳代とそれぞれ1人ずつになっている。平成30年の被害はない。

土家

被害に遭わないよう、啓発に力を入れていただいているが、介護施設なども含め、注意喚起を行うなど取り組んでもらいたい。市民の安全、安心につなげてもら

市政報告会に230人

4月の市議選
立候補を表明

市の未来切り拓く思いあらた

昨年11月25日に幸玉会館で土家靖起市政報告会を開催させていただきました。約230人の市民の方々に越えさせていただきました。土家がこれまでに提案した政策や、桜井の市政課題などを40分間、ご説明させていただきました。質疑応答をさせていただきました。皆さんのご支援と打診を受け、4月の桜井市市議選への立候補を表明いたしました。また元・県立医科大学教授で畿央大学客員教授の岡本内科ごどもクリニックの岡本新悟院長にご講演をいただきました。



幸玉会館で開催し、約230人の市民の方々に越えいただいた市政報告会



お集まりの市民の方々から多くのご支援と出馬打診の言葉をいただきました



ご講演いただいた岡本内科ごどもクリニックの岡本院長

主な報告内容

■財政改革

桜井市の昨年度の一般会計の決算では、収入に対する支出の割合を示す「経常収支比率」が103.6%となり、県内ワーストワンの厳しい財政状況が明らかになりました。

議会としては、理事者が提案する各事業に対し、選択と集中で厳しいチェック、監視を行っていき、自主財源の確保のための提案、要望に努めています。

■教育

学校給食センター移転改築は金屋保健会館跡地にPFIで竣工しました。

■ごみ収集の民間委託

■障害者に対する取り組み

■少子化と高齢者の問題

JR桜井線貯木場踏切の拡幅について

■都市基盤整備

小中学校の普通教室174教室へエアコン設置することを決めました。

老朽化が著しく耐震性がない市役所本庁舎の建て替えが決定しました。新しい庁舎の基本理念は「広がる輪、つながる世代、次の時代へと受け継ぐ、歴史、自然、文化人の営み、まちの拠点、安心・安全の拠点となり、次の桜井をつくる原動力となる、長く愛され続ける庁舎」となっています。平成33年6月末の完成を目指します。

県と桜井市のまちづくり包括協定に基づき、市内各地のまちづくりをさらに前に進めていきます。桜井駅前にホテル誘致が決まりました。

日野原重明先生の語録

- 一、愛することを心の習慣にして憎む心を持たない
- 二、どんな時も自分のことは自分で責任を持つ
- 三、明日について思いわずらわない
- 四、目標となる人から学ぶ事の大切さを知る
- 五、良いと思う習慣があったら、すぐにこれを実行する行動力を養う
- 六、考える習慣が好奇心を育み、脳をいつもまでも若々しく保つ
- 七、常に新しいことにチャレンジする心を持ち続ける
- 八、楽しみを見出す習慣を持ち続ける
- 九、うまく時間を活用できるように集中力を鍛える
- 十、Keep ongoing Progress with hope(希望を持って前進あるのみ)

年始などのあいさつは議員活動を優先させていただきます。市民の皆さま方には、何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。

またこの日の市政報告会には、岡本内科ごどもクリニックの岡本新悟院長に「明日の日が待ち遠しくなる生き方を求めて」と題してご講演をいただき、100歳を超えて現役医師として105歳まで活躍された故・日野原重明先生の語録Ⅱ表参照Ⅱなどを紹介いただきました。

4月の市議選へ出馬打診
4期16年、取り組んでまいりましたさまざまな市政課題について限られた時間の中でご説明とご報告をさせていただきました。
この日お集まりいただいた市民の方々から4月に行われる統一地方選の桜井市議選への出馬を打診いただき、これを承諾させていただきますました。残された任期まで全力で市政課題へあたらせていただくと共に、桜井市の未来を切り拓く思いをあらたにしているところです。



つちや靖起

現職

桜井市議会議員
桜井市ソフトボール協会顧問
戒重区顧問
桜井西地区社会福祉協議会会長
NPO法人ひかりの森理事
奈良県市町村職員年金者連盟桜井支部長

主な経歴

桜井市市長公室長
平成15年桜井市議選初当選
平成19年桜井市議選2選
平成23年桜井市議選3選
平成24年桜井市議選議長
平成27年桜井市議選4選

市政に対する要望・ご意見・ご提言をお寄せ下さい。

メール tuchiya@seikatubunka.jp

633-0064 桜井市戒重57 電話0744-43-9288



待ったなしの市政課題が山積
経験豊富な土家に期待



市民の皆さまには、日ごろから土家の議会活動に対し、格別のご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年11月に開催させていただいた土家靖起市政報告会には、ご多忙のところ多くの市民の方々にご参集いただき、心より御礼申し上げます。

報告会でも土家が申しました通り、桜井は厳しい財政状況に直面し、さらに人口減、少子高齢化と待ったなしの市政課題が山積しています。こんな厳しいときこそ、行政マン、そして市議として経験を多く積ませていただいた土家に期待しているところです。

今後とも、皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

(土家靖起後援会会長・勾田義浩)